

生活と職場環境の改善をめざします！

市労連中央執行委員長年頭のごあいさつ

組合員・ご家族の皆さん、新年明けましておめでとうございます。新しい年を皆さんとともに迎えられたことに心からお喜びを申し上げます。

昨年中は、市労連の取り組みに対しまして、組合員の皆さんにはご理解とご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

昨年1年間を振り返りますと、まずは4月に行われました統一自治体選挙では、北海道議会議員選挙において「沖田清志」氏が再選を果たすとともに、苫小牧市議会議員選挙でも「西野茂樹」氏、「小山征三」氏、そして新人の「岩田薫」氏が当選し、全ての組織内議員が見事当選することができました。この間の組合員・ご家族の皆さんのご支援とご協力に対しまして改めて感謝申し上げます。

7月には、人事評価制度の試行が開始しました。地公法改

正に伴い今年から本格実施されることから、試行結果の検証をしっかりと行うとともに、4原則2要件が担保される制度設計・運用にすため取り組みを進めていく必要があります。

また、同月には安全保障関連法案について政府・与党が、憲法学者からの明確な憲法違反の指摘があつたにもかかわらず、国民の疑問や反対世論も無視し、衆議院本会議で強行採決を行いました。さらに9月19日未明には参議院本会議でも強行採決して可決・成立させました。

昨年の人事院勧告では、24年ぶりに2年連続となる月例給・一時金の増額改定となりましたが、差額支給の取り扱いや支給時期の問題などがあり、今回の賃金確定闘争は交渉山場をスライドし、継続協議とする判断をしてきました。現在も継続して協議している最中ではありますが、国の情勢につ

いては12月4日の閣議決定において人事院勧告通り実施されることが確定的となりました。今後は、第2次交渉山場を2月中旬に設定し取り組みを進めていきますので、組合員の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

今年の7月には、参議院議員選挙が行われますが、今後の日本の将来を左右する重要なたたかいとなります。また、現在の安倍独裁政治と、改憲勢力や右傾化する政治勢力の拡大に歯止めをかけるためにも全力をあげて取り組みを行う必要があります。

最後になりますが、本年も市労連の一層の団結強化に向け、組合員・ご家族のみなさんのご支援・ご協力をお願いするとともに、市労連執行部としても様々な合理化課題、春闘期のたたかひに、全力で取り組みを進めていく決意を申し上げ、市労連を代表しての新年のご挨拶といたします。

明けましておめでとうございます。今年も頑張ります！



沖田 清志



西野 茂樹



小山 征三



岩田 薫

◎◎◎◎◎ 権利意識を高め闘いの先頭に立とう ◎◎◎◎◎

苫小牧市職員労働組合連合会